



9月3日(日)は町防災訓練

まずは家で自分を守る行動を、そして地域でみんなを守る行動を。
この機会に、家族や地域の方々と災害時への備えや行動を確認しましょう。

家庭で

自分の身は自分で守る！

地震が発生したことを想定し、次の行動をとりましょう。

- シェイクアウト
- 家の火の元の確認
- 家の中にいる家族の安全確認
- 避難路・出口の確保
- テレビ・ラジオなどで正しい情報の確認
- 非常持出品の確認
- 生活必需品の確認
- 電気ブレーカーの遮断
- ドア・窓の施錠
- 外出中の家族の安否確認

シェイクアウトとは

- ① 姿勢を低くする
- ② 頭を守る
- ③ 動かない



非常持出品

現金、預金通帳
身分証明書、保険証 など



生活必需品

懐中電灯、常備薬
非常食、飲料水 など

非常食や飲料水などは、
使ったら買い足して備蓄
する「ローリングストック」
がおすすめ！



私の避難場所は…

あなたが避難する場所はどこですか？

地域避難所 ▶

指定避難所 ▶

避難所は、町民カレンダーやハザードマップで
確認できます。

行動の確認ができればチェック
をつけよう！
家族で避難場所の確認・共有を
しておく、連絡が取りにくく
なる災害時にも役立つね



地域で

みんなの町はみんなで守る！



町内の各自治会では、AEDの使い方や
消火訓練など、さまざまな訓練を実施
します。
お住まいの地域の防災訓練に参加し、
ご近所の顔なじみを増やすとともに、
防災の意識を高めましょう。



interview

「災害」への正しい知識と、一人ひとりの意識

中家村自治会の防災部長として活躍されている ^{すぎやま ひでお} 杉山 秀夫 さんは、災害時に地域を支える、町の地域防災リーダーに認定されています。地域の防災に携わる杉山さんに、災害への備えのヒントを伺いました。



隣近所で助け合い

働いていたころも防災に対する意識はありましたが、自治会の役員をするようになって、より一層、防災と向き合う時間が長くなりました。

私が住む中家村自治会では、組ごとに災害時の役割を決めており、災害時にスムーズに行動できるようにしています。災害自体を無くすことはできないので、災害が発生した場合、いかに被害を減らすかという「減災」の考え方のもと、訓練などに取り組んでいます。減災には、隣近所が声を掛け合ってお互いに助け合える関係性が重要です。しかし、最近では自治会未加入世帯の増加により、近所の人の安否確認などが難しくなっています。どうやって地域の



「災害慣れ」ってなに？

開成町は、山がないので土砂崩れの心配はないし、地盤も比較的固い地域なので、幸いなことにさまざまな災害が頻発している地域ではないと思います。「災害慣れ」をしていない地域とも言えるでしょう。災害に慣れていないと、災害に対する意識を持ちにくい。だからこそ、防災に対する正しい知識を置いておく必要があります。

たちのことを把握し、助け合っていくのが今後の課題です。

地域を守るリーダー

町の防災講座を受講・修了し、地域防災リーダー養成講座の効果測定に合格すると「地域防災リーダー」に認定されます。地域防災リーダーは、防災訓練で地域の方々に訓練の指導をし、災害時は先頭に立って地域を守る存在になります。今はまだ人数が少ないですが、若い方も含め、多くの方々に地域防災リーダーになってもらい、地域を災害から守ってもらいたいですね。また、地域防災リーダーにならなくても、一人ひとりが災害への備えに対する意識を改めて持ち、町全体の防災意識が高まっていくと思います。

防災講座はおしらせ版や町のホームページでお知らせするよ！



防災の意識を高めよう

自主防災組織の活動内容
甚大な被害を経験した地域の方の実施の活動を聞く！(仮称)
令和5年12月2日(土) 13時30分～15時30分
開成町役場 1階町民プラザ
※参加をご希望の方は11月17日(金)までに防災安全課にご連絡ください。

1人ひとりの防災意識の向上と自主防災組織の強化を図る(仮称)
令和5年10月29日(日) 13時～15時
開成町福祉会館多目的ホール
※参加をご希望の方は、10月13日(金)までに防災安全課にご連絡ください。